

令和7年度 高松市議会まちづくり対話会 ～経済環境常任委員会 企業成長促進による産業力強化について～

日時：令和8年1月20日（火）午後4時30分～午後5時30分
会場：香川大学 幸町南キャンパス総合教育棟 第21講義室

【開会】

辻委員長の司会により、高松市議会まちづくり対話会を開会いたしました。

まず、今年度の所管事務調査（毎年度、各委員会の所管に係る政策的なテーマを設定し、1年間を通して調査・研究を行い、市当局に対して政策提言を行うもの）について紹介した後、5人の参加者と意見交換を行いました。

意見交換では、参加者の経歴や取組に触れながら、高松市の産業力を高める方策について、それぞれの立場や経験から、下記のとおり御意見をいただきました。

【意見交換】

・香川漆器などの漆芸には大きなポテンシャルがあり、今の時代に合わせた形でブラッシュアップできれば、地域の産業になり得ると考える。

・地域の産業について、しっかりとしたブランディングを行い、単価を上げて利益を確保する仕組みが必要である。

・経営者同士の情報交換会や学びの場、学生が経営者につながることでできる環境整備が必要である。

・特に若者を対象とした、行政主催のトライアル起業プログラムがあれば、新たな産業の創出や産業力の強化につながると思う。

・製造業従事者の離職率は非常に低い。製造業が発展し、雇用の創出が生まれれば、本市の人口増加にも影響するのでは。

・障害者にも多様な人材がいることから、労働力としての認識を浸透させる取組が必要である。



【閉会】

笹原副委員長から閉会の挨拶をして、対話会を終了しました。

参加いただいた方からのアンケートでは、「中小企業のGDPを分析し、業界を絞ることも必要」や、「高松市独自の特色を生かすことで、他地域からの誘致も可能となる。」、「ぜひ

企業への具体的かつ実行力のある支援策を進めていただきたい。また、将来、経営者を志す学生が、今以上に増えていくような環境や仕組みについて検討していただきたい。」など、今後の方策等についても御意見をいただき、とても有意義な対話会となりました。

御参加いただきました皆様、会の開催に御協力いただきました香川大学大学院地域マネジメント研究科の中村正伸教授をはじめ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。